

常磐文藝

遠足の記

湯本町藤田分校
高等科生 笹井道子
朝霧のいまだはれやらぬ五月の静寂な海はた近くをサク／＼と氣持よい足跡をのこして私達の一行は剣ヶ濱に向つた、はてしもなく續いた真青の麥畑、真赤なケシの咲き亂れた花壇の邊は白いバラソルのみえかくれする様はさながら一幅の繪の如くじつとどした調和を生み出してゐる。
途中本多神社に参拜校長先生の知人全村の齊藤少佐平にお住ると云ふ清野大尉の御好意により附近の本田家の寶物を拜觀した、益する事少くない全家の御厚意を謝して辭し再び海邊に進むさつと肌ざわりのよい清々しい風が過ぎると其の後からゴーツと云ふ一種物凄みのある浪の音が送られて來た。海だ！瞬間廣々とした海原が目前に展開されてたへまなく潮風が頬をなでる、思はず心臓の隅々までつたへられる様な深呼吸をした。なぎさに打寄せる波は静かだったあたかも銀砂に戯れる小波の様に……沙砂濱に咲く月見草は……からこの若草のしげみ／＼にさびしげに咲き誇つてゐる弓なりの波打際を歩むにつれて目的は近づいた劍ヶ濱の巖頭に立てば磯に碎ける波のしぶきは白玉の如くおどり狂つてゐる其の壯觀な姿に私はしばし嘔然としてたゞずんでしまつた

東京岡田屋出張大賣出し
六月廿日迄
平町一丁目 磐城通信社
購入の好時節
最近流行の和洋家具類
室内裝飾品に至るまで
良品を山の如く而も格別の廉價を以てお馴染の岡田屋が御伺ひ致しました

特別安値品
藤椅子、蠅張、夏屏風、和洋箆筒、茶箆筒、鏡臺、姿見針箱、本箱、化粧品、衣桁、食卓、火鉢、卓子、椅子、机、デスク、琴、三味線、鼠不入、佛壇、下駄箱、時計、唐木細工品、銅鐵其他山程

毎午前八時より午後九時まで

御進物に
節鯉の巻
嶋山屋
電話二二二番



マイズ蠅取粉
人畜無害
ホノノ少して一たまりもなく死ぬ

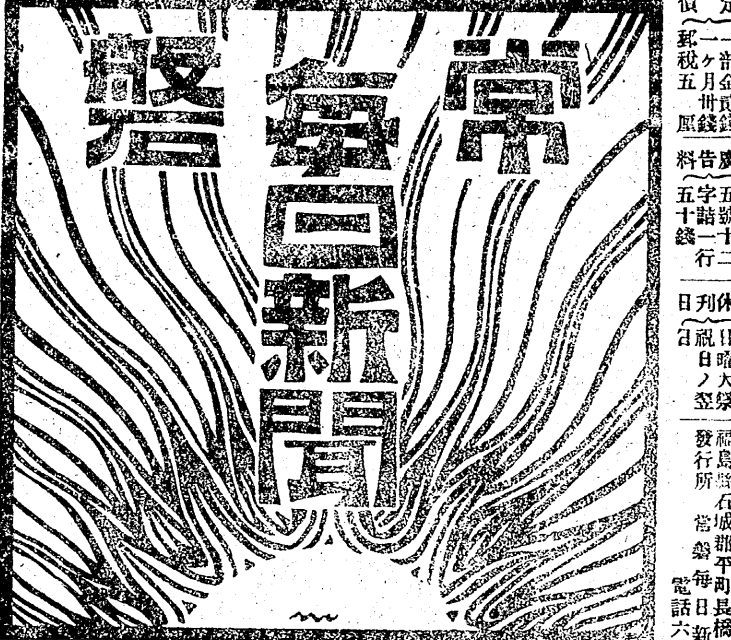
蠅をコップに入れ紙にて蓋を爲し穴を明け此蠅取粉少量を落とし込む時は蠅がキリ／＼舞ひして斃れる有様が良く判ります又蠅取機に振り掛くも同様です

荒物、雜貨、賣藥等の各商店にて販賣します

ナウハカガシアノダ
イラウミリニ
ナンキンムジ

吉田眼科醫院
町平
電話六三〇番

常磐新聞
定部金五銭 廣五銭十二
一ヶ月廿五銭 半年一元二角
一年二元五角 印刷費別
電話六三〇番




常磐毎日新聞
自著を推薦す (二)
「痴人の手記」に題して
横山アキラ

一承前—
思想の奔流は激なる響きのこだまして滔々と新らしい生活の上を永劫に流れて去る。並製の人間よりくだらない人間としての過去を抱くことは悲しいことである。然しくだらない過去であつたことに醒めたことは自身に執つて、その過去は決してクダらない過去ではなく意義ある過去である。一切を洗淨して新しい甦

生るの途に血と涙との洗禮とをうけやう。それには覺えないペンで懺悔をしやう、過去の記憶の再生に苦しみながらも、その過去を追ひし、哀悼しながら長い手記の中から採録した。これは著者の半生に餘る人生史から僅の部分を取つた「懺悔」である。正直な悲しい血の告白である。内容も貧しい、貧しいが事實であるその他自費出版であることが凡てを美しく整正することができなかつた。最後の校正が机上におかれた。寂しいが貴い内的生活の新建設をなしつつ歩みを續ける現在では若い生命に躍つてゐ

る、甘酢っぱい氣持と、冷たい涙とが交錯してゐる。カンナの芽、ダリヤの芽、グラデオラスの芽がすく／＼と花床に育つてゐる、この芽が青い葉を冠ける頃には「痴人の手記」も産まれるであらう。自費出版に際し署名を寄せて呉れた人々の友情を感謝すると同時に、不満足な出来栄を心からお詫する。(をばり)



貸家
新川町十七番地
表通商店向
新川町十八番地
裏家二戸建
新川町 中野勇吉

建築ノ絶好季!!!
機會ハ來ル!!!
材料ハ安く、能率ノ上ル
頼ンデ德、請ケテ樂ナ建物
ノタメニナル
▲一月十五坪以内ノ住宅本年内十戸ニ限り建築費三分ノ二迄三ヶ月賦金融
▲家賃ト大差無キ掛金ニテ三年間ニ自分ノ家トナル毎月其家ノ東端シカラ三十六分ノ一宛アナタノ物ニナツテ行クノデス

磐城建設會社
名篇突如公開
六月十二日より
帝キネ青屋作品
新作 不如歸 卷八
封切 松本泰輔・富士日出子主演
連續時代劇
客 白河小天狗 前篇
市川百々之助主演
マキノ作品
慶安 忠彌召捕 卷七
捕物 澤村長十郎・マキノ輝子主演
帝キネ 有聲座

遠藤パン
開店御披露
美術表具
玉成堂
平町田町
元平陽女學校跡

着尺モスリン
江戸好中形
粋な手拭中形
絹小紋
龜田屋

麻やか 廉賣
本濱
六八 七八 八十八
7.90 9.80 12.00
店服 吳井三
喜ッ幸ホロカヤ

警炭が労働者の家計全般を調査

九月から一ヶ年間

主として營養其他を
全國家計調査會では来る九月一日から一ヶ年の期間を定め全國各炭礦中五ヶ所各都市大工場等に所屬する百戸の

家庭を

基準として家計調査を爲し主として労働者の營養その他の細密な調査を爲す事となり東北では警城炭礦株式會社も其の

農試分場の果實栽培

石城郡神谷村にある本縣農事試験場石城分場では近年

死亡率

が非常に多くなつて來たが我が國は現在の處では其れ程では無いが將來國民の保健上基本調査を作るの必要があるのでは

方法で

研究して見ましたが今回の調査機關により一層秩序ある調査が出来得るものと思惟してゐる

平署の

清涼飲料取締

嚴重に検査
平警察署では昨今漸くサイダ、ラムネその他清涼飲料の消費時季に入つたので萬一之等不正品の爲に傳染病等の發生を見る如きことあつては一大事であるとし近

眞ツ裸の壯漢

ノコギリで割腹

石城郡内郷村大字宮居住耶麻郡關柴村大字下柴原生れ

三人大怪我

石城郡神谷村大字宮居住耶麻郡關柴村大字下柴原生れ

大騒ぎ

醫師の應急手當を受けしめ上田外科醫院に搬送込んだ



家庭欄

ミートオムレツ
玉子を小皿に割つて鹽やコショウを大サジで一杯入れ

平驛上りホームで

飛込み轢死を遂ぐ

大金所持の男

何處の者とも判明しない
通爲券一枚を所持してゐたが死体は一先づ平町役場に引渡し假埋葬に附した

身元が判明

病を苦にして

別項平驛ホームの飛込み轢死男は其後仙台市新河原町

カツパ小僧

遂に溺死す

石城郡玉川村大字金城字前田庄吉孫根本欣司(一)は十

不平受付

投稿歓迎

電燈のひも 近頃電氣會社では各戸の電燈のヒモを取替へて居る、取付當時に

近藤氏の挨拶

平警

七八丁離れた鈴木松太郎方に所用の歸途貯水池にて友達五六名と水泳を爲し堤より約廿間程泳ぎ出したが身

平町人事

- 出生
△細屋町二九 馬目政治氏三男隆雄
- 死亡
△新川町六 猪狩新(一七)
- △五丁目一六 目黒ユメ(三二)
- △田町一九 當時東京市麹町區飯田町 飯塚ツネ(八五)
- △古銀治町三二 數又ヌメ(五四)

けふ男兒の節句、碧空に鯉織り、雨でオジヤン

常磐片々

昨今陽氣の加減か自殺願々
金を抱いて汽車往生やら眞ツ裸のノコギリ割腹